

南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する 意見書

平成27年3月29日に開通した、南九州西回り自動車道「阿久根北IC～阿久根IC」間は、阿久根市初の高規格幹線道路であり、また、長年の懸案であった「阿久根～薩摩川内水引」間（約22km）も、「阿久根川内道路」として平成27年に新規事業化が決定され、同自動車道の全線開通に向け、地元住民の機運はさらに高まっている。

南九州西回り自動車道は、広域的な交流ネットワークの形成に必要な幹線道路として地域活性化に大きく寄与するとともに、災害時における広域避難や物資輸送にも重要な役割を果たすものであり、早期の全線完成は地域全体の強い願いである。

このように、本市としては、南九州西回り自動車道の全線開通に向けて、強い熱意と大きな期待を持つ一方で、国道3号のバイパス機能も併せ持つ、同自動車道の利用拡大により、阿久根市への人や車の流れの減少や阿久根市が通過点になるのではないかとの懸念もあるところである。

今後、魅力あふれる地域づくりをさらに進めていくためには、阿久根市が持つ多面的な魅力の創出や、地場産品やサービスを提供する空間（施設）が必要であり、南九州西回り自動車道の全線開通を見据えた取り組みが急務となっている。

そのような中、鹿児島県内で桜島に次ぎ、平成26年度に「名勝」として、県の文化財指定を受けた牛之浜海岸を本市は有しており、また、同付近は南九州西回り自動車道が全線開通した場合、市来インターから芦北インターまでの無料区間のほぼ中間の位置ともなっている。

このようなことから、鹿児島県を代表する景勝地であり、風光明媚な牛之浜海岸付近に物産館を併設した大規模な南九州西回り自動車道のサービスエリア等の建設について、県北薩地域の魅力あふれる観光拠点施設として整備を強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月25日

鹿児島県阿久根市議会